



やる気 根元

学校教育目標：心豊かでたくましく 心身ともに健やかな鳴鼓っ子の育成

時津町立鳴鼓小学校 学校だより 第 9 号

令和2年12月1日 文責：校長 村井 宏之

鳴鼓っ子の心を見つめる教育週間



例年は六月に行っている教育週間ですが、今年度は新型コロナウイルスの影響で十一月に実施しました。全校集会での「いじめ」についての校長講話、命について考える道徳の授業参観等があり、「いじめ」や「いのち」について考え直すよい機会となりました。授業参観には、多くの保護者の皆様に参観いただき、ありがとございました。数少ない保護者の皆様と学校がつながる機会を大切にしていきたいと思えます。

校長講話では、宮西達也さんの「ニンジンとびすすけ」という絵本を使って、どうしたら鳴鼓小から「いじめ」をなくすことができるか考えました。

子ども忍者すすけは、いつもお友達のきんそうにいじめられます。そこで、お殿様に相談に行きました。「どうしたらいじめはなくなるんだらうっ」といいうすすけの疑問に、お殿様はこう答えます。

「いじめをいじめでかえしたり、逃げたりしてはいけない。いい術がある。それは、『ニンジンとびすすけのじゅつ』じゃ。いじめをするものは、なにかきつとつらいこと、悲しいことがあるのじゃ。すすけ、おまえは選ばれたのじゃ。お前の『やさしさのじゅつ』をみせてやれ。」



お殿様が言うように、「やさしさ」で「いじめ」を飲み込んでいくしかないのかもしれない。

鳴鼓小には、知らず知らず「やさしさのじゅつ」を使っているお友達がいるようです。だから、鳴鼓小は、いじめが少ないのだと思います。でも、いじめはあります。鳴鼓小からいじめが無くなるよう願っています。鳴鼓っ子たちが、それぞれ「やさしさのじゅつ」の使い手になってくれることを願います。

メディア講習会



教育週間の期間中に、四年生と六年生で、県のメディア指導員を招いて、メディア講習会を開催しました。四年生は保護者の方々といっしょに、メディアの脳や体への影響や、インターネットやSNS等の危険性について学びました。また、六年生は、瓊浦高校の先生と学生さんを講師に招き、メディアとの関わり方について学びました。高校生のお兄さん、お姉さんに話をしてもらったことで、より身近なこととして受け止められたようです。

地域に学ぶ



左底銭太鼓浮立（4年生）



玉ねぎの苗を植えました（2年生）

思いを語り合える子供の育成

鳴鼓小学校では、長崎県教育委員会及び時津町教育委員会から研究指定を受け、「思いを語り合える子供の育成」をめざし、国語科の研究に取り組んでいます。研究をとおして、主体的に学び合い、自分の思いや考えを適切に言葉で表現できる鳴鼓っ子を育てることを目指しています。

十一月五日には、県内から約百十名の先生方に参加いただき、研究発表会を実施しました。一年一組、四年一組、五年一組、六年一組が代表して、国語の授業を公開しました。四学級とも、普段の力を発揮し、しっかりと学びに向かう姿を参観の先生に見せてくれました。参観の先生方からも、課題に対して自分の考えをもち、積極的に発表する子供たちを褒めていただきました。少しずつですが、着実に「思いを語り合う」ことができる子供たちに育ってきています。



非認知スキルを鍛える

教育経済学者の中牧氏は、「幼児期から少年期に非認知スキルを伸ばすことによって、成人してからも大きく成長する。」と述べています。学力テストなどで計測できるものを「認知スキル」といい、自制心ややり抜く力、ルールを守るといような社会性などを「非認知スキル」と呼んでいます。

アメリカの研究で、この「非認知スキル」に特化した実験を行ったところ、最も優秀な子供が育ったそうです。それは、自制心や社会性のある子供は、先生の話にしっかりと耳を傾け、懸命に勉強したり、スポーツや習い事をしたりできるからだそうです。その研究者は、「重要なことは、自制心や社会性が伸びると学力も伸びるが、その逆はない。子育ての順番としては、非認知力を高めることが先である。」とも述べています。

学力を伸ばすことも大切ですが、授業を真面目に受けたり、課題を期日通りに提出したり、その合わない友達とも折り合いをつけていったりできる「日常」にこそ意味があるのだと思います。学校に通っている一つの意味に、このような社会性ややり抜く力を付けることがあります。いまこそ、鳴鼓っ子をたくましく、そして賢く育てるために、家庭と学校、地域が一つとなり、そのような視点で子供たちを育てていくことが大切なのではないかと考えます。

十二月の主な行事

- 一日(火) 薬物乱用防止教室(六年生)
- 四日(金) 全校集会
- 七日(月) メディアOFF週間(十三日)
- 五校時目課開始(十二日)
- 十日(木) 人権集会
- 十五日(木) 「Present4U」コンサート(一～三年生)
- 代表委員会
- 二十二日(火) クラブ活動
- 二十三日(水) 租税教室(六年生)
- 二十四日(木) 終業式
- 二十五日(金)～一月七日(木) 冬休み



「Present4U」コンサート

カナリーホールの事業として毎年行われていた「カナリーステージサイン」が、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となり、それに代わり、アーティストを学校に招いてコンサートが開催されることになりました。子供たちに元気を与えてくれることでしょう。

十二月十五日 プリコット(一～三年生)

※リコーダー、ファゴット等の演奏と歌

一月二十七日 西方小天鼓(四～六年生)

※和太鼓の演奏